

受講
無料

TFU
Tohoku Fukushi University

実学臨床研究

セミナー

37回

※ 本学大学院総合福祉学研究所社会福祉学専攻の授業科目としても開講されています

■ 開催日時 2024年9月26日(木) 18:30 - 20:00

■ 受講方法 Zoomオンライン開催 ※ Zoom情報は開催2日前より送付します

■ 申込方法 Web専用サイト(Peatrix)より登録 <https://tfu-jitsugaku-seminar24.peatrix.com/view>

9月26日(木)12時までにお申込み下さい



在宅介護から顕在化する高齢者を 取り巻く家族問題への支援

■ テーマ趣旨

超高齢、人口減少社会にある我が国においては、人口構造の変化を背景に家族機能の脆弱化が進み、さらに団塊の世代が後期高齢者になる2025問題がいよいよ現実となる。高齢者を取り巻く8050、老老介護、認認介護などに象徴される家庭内の問題は在宅介護の必要性から顕在化することが多く、その際に専門職、関係機関の役割が重要である。本セミナーでは日本の人口の高齢化の現状とそれに伴う高齢者と家族を取り巻く諸問題を整理した上で、具体的なソーシャルワーク実践の紹介を含めて、高齢者とその家族への支援の課題と問題の予防に向けたつながり作りの重要性について考える。

■ キーワード

8050 老老介護 多職種連携
地域包括ケア

■ 企画 TFU実学臨床研究セミナー実行委員会

■ 講師紹介

折腹 実己子 (おりはら・みきこ)

東北福祉大学卒。特養施設長・地域包括支援センター所長等々勤務。
2018年より宮城県社会福祉士会会長。

石附 敬 (いしづき・たかし)

東北福祉大学総合福祉学部 准教授
特別養護老人ホームや養護老人ホームで生活相談員、国立長寿医療センター研究所流動研究員などを経て、2013年から本学教員として勤務。

■ 福祉実践・実践研究への手ごかり

対象者の属性に対応する専門的な支援体制では対応が困難な、多様で複雑な支援ニーズに対応するため、現在、重層的支援体制の構築が進められています。個人の支援をきっかけに出会った家庭内の複雑で多様な支援ニーズに対して、支援者個人の視点からどう対応していくことができるのでしょうか？多分野多領域にまたがる専門職・機関のネットワークの構築など実践的取り組みが求められています。

次回(38回)のお知らせ

日時 10月24日(木) 18:30-20:00



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局
(実習支援センター 実学臨床教育推進室内)
TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293
E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp
※平日8:30~17:30までお願いします(土日・祝日不在)